

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 2年 4月 1日

事業所名 リトル☆スター北方

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		隣接する地域交流スペース「もちの木広場」を活用しています。	活動内容によっては、指導訓練室だけでは狭いと感じる。子どもの様子を見ながら隣接するもちの木広場の活用を考えていきます。
	2	職員の配置数は適切である	4		常勤の有資格者(保育士、児童指導員)を配置しています。	個別ケアの必要な時には支援できる職員体制を考えていきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4			

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20		4		子どもの色々な場面での様子を知るため、開催できるように働きかけていきます。
	21	4		送迎時に情報を交換している。また、学校の行事には参加しています。	学校訪問の機会を多く作っていきます。
	22				
	23		4		保護者からの聴き取りと相談支援事業所からの情報を共有していきます。
	24				
	25	1	3		発達障がい者支援センターの研修は随時受けていますが、個々の支援に関する助言は受けていません。今後必要な場合には相談ができるようにしていきます。
	26		4		北方みなみ・きた子ども館等の行事参加や、公園へ遊びに行くなど交流の機会を作っていきます。
	27		4		機会があればぜひ参加していきます。
	28	4			
	29		4	送迎時に相談を受けています。	出来る範囲での助言や支援を今後とも続けていきます。
保護者への説明責任等	30	4		契約時に利用者への説明は丁寧に行うよう心掛けています。	
	31	4			
	32		4		今後交流会を企画していきます。
	33	4			
	34	4			
	35	4			
	36	4			
	37		4	併設するナーシング北方の行事に参加しています。	リトル☆スター北方としては、行っていない為、今後検討していきます。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、 感染症対応マニュアルを策定し、職員や保 護者に周知している	2	2	マニュアルの作成は しています。	保護者の方が閲覧できるようにしておきます。台風接 近時や感染症等の対応については、お渡しできるよ うにしています。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救 出その他必要な訓練を行っている	3	1	年2回併設するナー シング北方の訓練に 参加しています。	子ども全員が参加できるように調整していきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確 保する等、適切な対応をしている	4			
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行 うかについて、組織的に決定し、子どもや保 護者に事前に十分に説明し了解を得た上 で、放課後等デイサービス計画に記載して いる	4			
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医 師の指示書に基づく対応がされている	4		保護者の方に聴き取 りをしています。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で 共有している	4			